

事業所名 児童発達支援 じゆにすぼプラス

支援プログラム

作成日

令和8年

3月

16日

法人（事業所）理念		子ども一人ひとりの個性を大切に、運動やさまざまな活動を楽しむ中で成功体験を重ね、心を身体の成長を支援します。「できなくても大丈夫、やってみよう」の気持ちを大切にします。							
支援方針		運動を中心にしたとび箱・鉄棒・エアートランポリン・ビョントレーニングなどで身体を動かし、最後は個々に合わせた机上課題に取り組み、振り返りでは楽しかったことや難しかったこと、頑張ったことを発表し成長を支援します							
営業時間		8時	45分	14時	45分	送迎実施の有無	あり	なし	要相談
		8時	45分	17時	30分				
		10時	30分	16時	30分				
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	挨拶・身支度・活動前後の準備や片づけを通して生活習慣を支援します。子どもの様子を見なふあ水分補給や衣類の調整をし体温調整ができるよう支援する。							
	運動・感覚	鉄棒・とび箱・エアートランポリン・ビョントレーニング・マット運動・サーキット運動あそびを通して、体幹やバランス・身体の使い方を身に付けるとともに「やってみよう」という気持ちを育てる支援を行います。							
	認知・行動	活動手順やルールの理解を支援し、机上課題や運動課題を通して集中力や認知力を高めるサポートを行います。また、振り返りを行うことで自分の気持ちをととのえる力を育てる支援を行います。							
	言語コミュニケーション	始まりの挨拶や終わりの挨拶、職員や友達とのやり取り、活動の振り返りを通して気持ちや思いを言葉で表現する力を伸ばす支援を行います。							
	人間関係社会性	小集団での活動、運動あそびを通してルールや理解を学び、友だちとの描かw去り方や社会性を広げていく支援を行います。							
家族支援		活動の様子や成長の報告を写真・動画・支援記録で共有 家庭でできる運動・学習支援のアドバイス			移行支援		保育園・幼稚園との情報共有 就学に向けた生活習慣・集団活動支援		
地域支援・地域連携		相談発達支援専門員・保育園・幼稚園との連携			職員の質の向上		●情報共有 ●定期的な研修や勉強会の実施		
主な行事等		日常の活動の中で季節感やイベントを遊び・運動の中に取り入れる							